

ZENBUTSU

全仏



No.
554

仏暦2552年11月
[2009年]



京都 紅葉の善峰寺— 撮影 橋本明禪副会長

目次	加盟団体をゆく 第30回 日本仏教鑽仰会	2
	WFB合同役員会議・執行役員会議報告	4
	第32回埼玉県佛教徒大会報告	5
	第29回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要	5
	第1回実践フェューネラルサービスセミナー開催される	6
	WFB本部表敬訪問 ネパール・ルンビニー園参拝ツアーのお知らせ	8

加盟団体をゆく

《第三十回》日本仏教鑽仰会

今回は、日本仏教鑽仰会を訪ね、中山静庵理事長及び中山準事務局長にお話を伺いました。

日本仏教鑽仰会の前身は、昭和十五年中山理々初代理事長の発意により日本仏教固有研究会が設立され、現在まで活動を続けています、非常に歴史の長い団体です。



中山静庵理事長(右) 中山準事務局長(左)
掲額は中山理々初代理事長

―貴団体の活動で、継続的に、また特に力を入れていらっしゃる点についてお聞かせ下さい。

この「日本仏教固有研究会」は昭和十六年に「日本仏教鑽仰会」と改称し、昭和二十一年財団法人として認可されました。

設立の目的は、「広く一般国民に対する仏教精神の高揚を図ること」であります。その為の取り組みとして、専門講座を毎月定期的で開催しております。現在は「仏教カルチャー・セミナー」という名称で、各界からご協力を頂いて講師の先生を招聘し、公開講座を開催しています。(聴講費千円)

過去においては「アジアの仏教を聞く会」「親鸞聖人をおもひ会」「聖徳太子義疏の会」等、特定のテーマに絞った講演会を数年に渡って開催し、大阪においても講座を開催致しました。こうした

特別講座を、今後も開催していきたいと考えております。

また、設立当時の昭和十六年の時局は、日中戦争の真つ最中でありました。

「怨親平等」の教えに従い、日中両国戦死者の追弔法要として「第一回怨親平等お盆まつり」を昭和十六年七月十六日に勤修し、二千五百名の参詣者が詰めかけた、という記録があります。参詣者の中には、在京の中国やインドをはじめ、アジア各国の方々の姿も多くみられ、大変意義深い法要であったと記載されています。

この、「怨親平等お盆まつり」は戦中・戦後にやむなく中止になった年がありましたが、それ以外は毎年開催しており、今年で第六十七回を数えます。

戦後に「世界平和お盆まつり」「都民お盆まつり」と改名され、現在では「東京お盆まつり」と称しています。

中山理々初代理事長は、全日本仏教会創設の際も、発起人の一人として各宗の和合に力を尽し、発

会後は自らも国際局長として世界仏教徒会議開催等に尽力してまいりました。

こうした各宗和合の精神が、現在も活動に活かされていると思います。

―今後の仏教界の在り方について、指針をお聞かせ下さい。

僧侶には、自分の信じている教えを大衆に伝える「布教」という、非常に大切な役割があります。この「布教」の方法とは、実際の世相・状況に即して説法等の布教を行う「現実主義」、あくまでも理想を追求する「理想主義」があると考えています。

これからの二十一世紀を考えていくと、僧侶は「現実主義」に力を入れていかななくてはならないのではないかと思います。

理想を説くのも確かに非常に重要ではあります。しかし、情報化社会の現代において、自分にできる範囲を超えた説法を行っては、「口だけの僧侶」と言われてしまうのではないのでしょうか。自分に

できる範囲の活動及び説法をきちんと行ってゆく事が、重要になってくると思います。

仏教には、戒律という道徳に近いものも説かれています。一例をあげると『七仏通誡偈』（『諸悪莫作 衆善奉行 自淨其意 是諸仏教』―すべて悪しきことをなさず、善いことを行ない、自己の心を淨めること、これが諸の仏の教えである―）等です。

しかし、こうした道徳でさえ、百パーセント守れるかというとなかなか難しいのが現実です。

自分の心も完全に「無」とは言えない。その自分の立場を見つめつつ、布教を行って行く事が重要ではないでしょうか。

―昨今の様々な社会問題について、感じていらつしやる思いをお聞かせ下さい。

昨今、悲惨な事件や詐欺等が巻き起こる背景には必ず個人の心の問題があると思います。

原因の一つには、教育で自由を教えずにいるのではないかと感

じる事が多々あります。「個人主義」が間違つて解釈され、勝手主義、利己主義になっていきます。これには、公的機関の極端なまでの宗教アレルギーにより教育の場から宗教的な事を排除してしまつた。その結果として生じたものだと思います。

人間、一人で生きていける人は誰もいません。生まれてきた人は、いつか必ず死にます。しかし、現代を生きる人々はよりどころを見失い、全く心が整理できていません。

原因があるから、結果がある。両親が生んでくれたから、自分がいる。しかし、両親の葬儀は面倒だから「直葬」にしてしまう。

葬儀は、故人に感謝や哀悼の意を示す場であると共に、故人を偲んで人々が集まり、人と人との繋がりを生む場でもあります。

経典の中に、いくつか地獄について説かれております。その中に、「叫喚地獄」という地獄がございます。生きている間の罰を受け、拷問され号泣、叫喚する地獄

であると伝えられています。

私は、この地獄は「叫喚」、泣き叫ぶのがつらいのではなく、泣き叫んでも誰も来ない「孤独」こそが地獄だと思います。

例えば、都会のマンションで、人と人の繋がりが全くなく、隣の住人が孤独死したらしい、という話を最近よく聞きます。「らしい」というのは、葬儀も何もしないのて「亡くなったらしい」という話を人伝えに聞いただけだということです。

これがまさしく、現代の「地獄」なのではないでしょうか。

「個人主義」「自由主義」に基づき、勝手気ままに人生を送ってきた結果、気が付くと孤独になってしまい、死してもなお孤独にさいなまれてしまう、という非常につらい状態になってしまふ訳です。

世の中を直す事は、すなわち個人個人の目覚めを促すしかないと考えており、それに対して仏教者は大いに働きかけていくべきです。仏教をはじめとして宗教は大きな力になると思います。

―(財)全日本仏教会への「ご要望やご意見がありましたらお聞かせ下さい。」

全日本仏教会は、事業そのものを独自に起こして展開するより、各団体間の連携強化・広報協力等により、各団体が力を発揮しやすいように調整をして頂けると助かります。

また、「幸福の正体とは？」等の、全仏教的なテーマに関して考察する事が将来できると面白いのではないかと思います。

(談)



第67回東京お盆まつりの模様

WFB第六回合同役員会議・第七十六回執行役員会議報告

十月六日、タイ・バンコクにてWFB（世界仏教徒連盟）第六回合同役員会議、第七十六回執行役員会議が行われた。

本会からは小林正道WFB副会長（常務理事）、戸松義晴WFB執行役員（国際交流審議会副委員長）、正本乗光WFB人道支援委員会委員長（国際交流審議会委員）および壽山良光国際部長、藤田宗玄国際部次長が出席した。

一、第六回合同役員会議

明年（二〇一〇年）五月二十三日のWFB創立六十周年に際してタイ本部での記念法要および執行役員会議の開催、また十一月スリランカでの第二十五回世界仏教徒会議開催の準備を進めることが決められた。

昨年（二〇〇八）の第二十四回世界仏教徒会議日本大会で本会が提案し承認された、「WFB人道支援基金運営委員会設置規程」と「人道支援基金運用規定」については、本会提出の原案が承認され、会長による委員指名を待ち、委員会を近々に設置し、実働を始めることとなった。

委員は基金への拠出貢献実績の高い地域センターより指名選定される。なお規定中の「災害発生等の緊急時には会長・委員長の合意で事業執行が可能」である条項も承認された。

また、十二月にオーストラリア・メルボルンで開催の世界宗教会議（The Parliament of World's Religions）について、WFBとして代表を派遣することも決まった。

また、十二月にオーストラリア・メルボルンで開催の世界宗教会議（The Parliament of World's Religions）について、WFBとして代表を派遣することも決まった。

二、第七十六回執行役員会議

WFB財務担当より、人道支援基金を中心とした財務状況についての報告。続いてWFBへの新規加入申請の検討が行われた。

次に、ルンビニー園復興事業の現況についての説明および事業への協力依頼がネパール代表よりなされた。

その他、台湾・インドネシアでの自然災害への現地センターの復興支援の様子が映像で紹介された。

三、WFB人道支援委員会

WFBの九つの常設委員会の一つである「人道支援委員会」が、執行役員会議終了後に、正本乗光

委員長、パロップ・タイアリーWFB事務総長らが出席の下、開催された。協議の結果、この度はインドネシア地震災害への対応に重点を置くことになった。

アメリカ・ダルワン委員（インドネシア）所属センターの緊急救援チーム「カルナ・ミッタ」からの被災地調査報告を待って、正本乗光委員長からWFB本部に支援計画を提示。緊急時であるため、今回、新たに設置の「人道支援基金運営委員会」の委員長（現在パシフィックWFB会長の指名待ち）とパンWFB会長の合議の下、基金を「カルナ・ミッタ」へ拠出する方向となった。また、必要に応じてWFBとして現地視察を行うことも検討する。



執行役員会議の様相

BNN主催公開セミナー

十月一日、慶応大学三田キャンパスに於いてBNN（仏教NGO ネットワーク）主催の公開セミナーが開催された。今回は「仏陀銀行」を展開する四方僧伽代表・井本勝幸師と、慶応義塾大学経済学部長・塩澤修平教授がパネリストとして参加。

仏陀銀行は仏教の理念に基づき発展途上国の貧困に苦しむマイノリティーに無担保で小規模融資をし、自立支援を行っている。融資は原則一口あたり五十万円を上限とし、融資額の八割から九割を国家通貨で行い、残りを地域通貨（BD・ボーディー）で行っている。地域通貨を利用することによって、お互いの顔が見える取引ができ、そこにコミュニティが生まれ、慈悲に基づく自立した地域を作ることが出来る等の利点が説明された。

井本師の説明を受け、塩澤教授より「大手銀行は個人を特定し調査をするという作業が非常に難しい。今後、仏陀銀行を広く展開していくにあたり、顔の見える世界で融資がどこまで出来るのか。又、地域通貨ではなく、国家通貨を上手く使っていくことを考えてもいいのではないか」という仏陀銀行の課題が提示された。

第三十二回埼玉県佛教徒大会報告

十月七日(水)、大型の台風が本州に接近し、雨が落ちる中、秩父宮記念市民会館(秩父市)において第三十二回埼玉県佛教徒大会が開催された。大会テーマは『共に歩もう仏の道』。参加者は県内各地から約六百人。主管である秩父支部の町田廣文実行委員長の歓迎のことばで開会。続いて地元秩父幼稚園園児による献灯献花が行われ、藤田得三県佛会長を導師に記念法要が厳修された。法要終了後、藤田会長から主催者挨拶、そして来賓挨拶として全日本仏教会の深澤信善事務総長並びに秩父市長(代行)からご挨拶をいただいた。

開会行事後の記念講演では、講師に元駒澤大学総長の 大谷哲夫師を迎え、『道元禅師の御生涯』— 映画「禅・ZEN」を撮り終えて—と題し、一時間半にわたりご講演をいただいた。映画「禅・ZEN」の原作『永平の風・道元の生涯』の原作者として、映画撮影の裏話や道元禅師のおことばを交え、現代社会に仏教を活かして生きていく大切さなどをわかりやすくお話しされた。



幼稚園児による献灯・献花

午後からの記念公演では、地元の伝統芸能である小鹿野歌舞伎が上演された。マスコミなどで紹介される小鹿野歌舞伎保存会の皆さんによる温かみのある舞台は、参加者からおひねりが飛ぶほど好評であった。

本大会は昭和五十二年に本県で開催された、第二十五回全日本仏教徒会議埼玉大会を契機に翌年から毎年開催されている。埼玉県内を東西南北の四ブロックに分け、持ち回りで開催。本年は北部地区が担当しており、北部地区に限らず、その他の地区からも大勢の参加者があった。(報告 埼玉県佛教会)

「第二十九回 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」開催される

九月十八日、浄土真宗本願寺派主催「第二十九回 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」が国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて開催された。

十二時三十分から、本願寺築地別院 豊原大成輪番(本会理事長)の開会挨拶で「つどい」が始まり、仏教賛歌・記念布教(布教使 遠山博文師)・宗門関係学校の中高生の中から選ばれた作文、京都女子学園京都女子中学三年青木晶子さん「仏教におけるいのちのつながりと戦争」・鎮西敬愛学園敬愛高等学校三年 釜田彩花さん「失われていくいのち」がそれぞれ朗読。引き続き、駐日各国大使がメッセージを述べられた。

十三時三十分より、大谷光淳新門様のご焼香の後、橋正信総長のお導師で法要が勤められた。お勤め中、各国駐日大使・政財界関係者・宗教団体関係者・本願寺派関係者等が、それぞれお焼香。本会より、中村澄枝広報文化部長が宗教団体関係者として参列した。

法要後、橋正信総長は「(略)このご法要に遇わせていただくことは、私たち一人ひとりがいのちの尊さを確かめ合い、戦争という痛ましいあやまちを二度と繰り返



開会挨拶をする豊原大成輪番(本会理事長)

すことのない平和な世界の実現にむけた決意を明らかにするものです。(略)平成二十三年にお迎えする親鸞聖人七百五十回大遠忌法要のスローガン『世の中安穏なれ』という宗祖聖人のご遺訓を体し、揺るぎなき法灯のもと、非戦・平和のいのちの尊さを訴え続けていく不断の努力を重ね、自他ともにこころ豊かに生きることのできる平和な世界の実現にむけた取り組みをともどもに進めてまいりましょう。」と、挨拶を締め括った。

曇天の中、二千数百名の参拝者が参列。毎年、国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で修行される「全戦没者追悼法要」の意義を深く感じたことと思う。

「第一回実践フューネラルサービスセミナー」開催

初の試み!! 全葬連の研修会に講師として出講

九月十八日(金)標記セミナーがホテルグランヴィア岡山で開催された。

過日、東京會館に於いて全日本葬祭業協同組合連合会(以下、全葬連)代表者と本会代表者との第一回懇談会を開催(全仏誌四月五四八号に掲載)の折、全葬連側から当連合会企画主催のセミナーに講師として招聘したい旨の依頼があり、今回の開催の運びとなった。

講師は、東京都仏教連合会事務局長の新倉典生師。僧侶と葬祭業者との交流は地域によって温度差がある。前述の両組織間の懇談会において話し合われた課題の克服の一環として、このような形での開催となった。

都道府県仏教会と全葬連加盟の都道府県協同組合がそれぞれの地域で交流を深め、諸問題を認識・共有することで、消費者(檀家)

とのトラブル或は不信感を少しでも克服できればとの思いである。

セミナー内容は左記のとおり

講演① 消費者向け葬祭サービスガイドラインについて

講演② 葬祭事業者のグリーンフケアとはー遺族の悲哀に向き合う

講演③ お葬式の在り方を考えるー寺院に求められていること

講演④ ウエディング業界の変遷から見る葬祭業界の今後を占う

ージミ婚からレストラン・ハウスウエディングへの消費者心理の変化について

〔パネルディスカッション〕

変わる消費者の意識葬祭業界の变革ーこれからの顧客が望むこと

講師の新倉師は「講演③」を担当。現代の葬儀告別式について、祈り(供養)の儀式と習俗的な儀式とに分けて説明。また直葬については、僧侶への信頼感の低下(寺離れ)、死生観の変化(生と死の

乖離)、経済的理由等について述べ、さらに葬儀において、派遣僧侶の立場と一般的な菩提寺の住職の立場との違いについても触れられた。

参加者は、全国各地から参集した葬祭業者で四十名程であった。

講演の内容については、細かい課題(布施等)はともかく、僧侶から見た葬儀の在り方が参加者に伝わったようで、主催者側も企画が成功したことを喜んでおられた。

また、「講演④」の内容に非常に興味をそそられた。講師の岩本博氏はリクルート在職中に結婚情報誌『ゼクシイ』を発刊させ、現在は(株)エスクリ(ブライダルコンサルティング)の代表取締役である。

岩本氏は結婚式での顧客の満足度も上げる為の企業内の努力を例に挙げ「ウエディング業界は結婚式をやらないう選択肢がある。葬祭業界は解らないが、葬儀の意味を浸透させる努力は必要ではないか?」など、異業種からの見方には、つつい聞き入ってしまった。

全日本仏教会「賛助会員」

入会者一覧

(八月十一日～十月十日)

【特別会員】

信州 善光寺事務局

【団体会員】

(財)ライフプランニングセンター

【個人会員】

西村 輝成(東京都 信松院)

境野 哲秀(東京都 本照寺)

(敬称略)

ご入会誠にありがとうございます。引き続き、皆様のご入会をお待ちしております。

本会ホームページから賛助会員要綱・申込書などが閲覧・プリントアウトできます。

http://www.jbfn.jp

全国のご寺院にお願い

個人の入会にあつては、入会希望者の菩提寺の推薦を頂くことになりました。加盟団体傘下の各ご寺院の皆様にはご負担をおかけいたしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

「救援基金」寄附者名

(九月十一日～十月十日)

新潟県仏教会

顕本法華宗

時宗

北条仏教会(愛媛県)

(敬称略)

ご支援誠にありがとうございます。

仏教界挙げての人的活動のため、引き続きご協賛をお願い申し上げます。

【郵便振替】

口座番号

00110191704834

口座名義 全日本仏教会救援基金

※銀行へのお振込みをご希望の方はお問い合わせ下さい。

担当 財務部

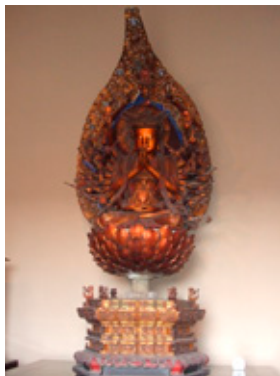
03-3437-9275(代)

名古屋市平和公園内平和堂の 千手観音像を視察

名古屋市は、戦後の復興事業の一環として、当時名古屋市寺院にあった墓地を平和公園内に集約した。昭和三十九年に平和堂が建設され、その中に千手観音像が安置されており、市民にも親しまれている。

千手観音像は、昭和十六年に南京日中友好記念として南京市より贈られたものであり、その際に本会の前身である財団法人大日本仏教会が慶讃法要を勤めたという経緯がある。

今回、名古屋市より過去の経緯や所有権等の権利に関する問い合わせがあり、十月十三日に本会より深澤信善事務総長及び奈良慈徹総務部長が現地を訪問。前衆議院議員（民主党）河村たかし名古屋市長を表敬訪問した後、市内東山の平和公園内、千手観音像及び平和堂を視察した。名古屋市では、今後、美術品として市の予算にて千手観音像の修復及び維持管理を予定している。



平和堂内の千手観音像

事務総局録事

九月（十一～三十日）

十一日 ▼朝日ビジネスソリューション来局

▼「靖国神社公式参拝に対する抗議文」手交・民主党事務局・自由民主党事務局訪問（衆議院議員会館）

▼無料法律相談室

十七日 ▼第八回宗教教育推進委員会

▼事務総長経験者懇談会
▼尾道仏教会・三原市仏教会訪問

▼（社）日本ネパール協会主催「ネパールの政治経済情勢」講演会出席（新宿中村屋）

十八日 ▼浄土真宗本願寺派主催「第二十九回千鳥ヶ淵全

戦没者追悼法要」参列（国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑）

▼全葬連主催「第一回実践フューネラルサービスセミナー」参加（ホテルグランヴィア岡山）

▼第四十一回全日本仏教徒

会議栃木大会実行委員会出席（宇都宮）

▼サマーダボス会議 in 大連報告会出席及び世界経済フォーラム日本統括担当 土屋聡氏と面談（六本木ヒルズ森タワー アカデミーヒルズ）

二十四日 ▼BNN企画委員会出席（庭野平和財団事務所）

▼無料法律相談室

二十五日 ▼人道調査室松本氏来局

二十九日 ▼広報委員会
▼局内会議
▼天皇陛下御即位二十年奉祝委員会第二回合同役員会出席（経団連会館）

三十日 ▼浄土宗第九十八次定期宗議会での本会事業説明（浄土宗務庁）

▼財団創立五十周年記念事業DVD編集作業立合い

十月（一～十日）

一日 ▼BNN第二回公開セミナー出席（慶應義塾大学三田キャンパス）

二日 ▼WFB執行役員会議打合せ

五日 ▼社会人権審議会（全体会）
▼日本宗教連盟第三回理事會出席（新宗連会館）

▼WFB執行役員会議出席（タイ・バンコク）至八日

▼日本仏教鑑仰会取材
▼日本生命来局

六日 ▼（財）全国青少年教化協議会主催「お寺の公益性を考えるシンポジウム二〇〇九」参加（東京グランドホテル）

▼西武トラベル来局

七日 ▼「同宗連」主催「第二十四回教団行政責任者研修会」参加（京都ホテルオークラ）
▼第三十二回埼玉県佛教徒大会出席（秩父宮記念市民会館）

八日 ▼フジサンケイビジネスアイ、佐伯氏取材の為来局
▼無料法律相談室

九日 ▼局内会議
▼朝日ビジネスソリューション来局

無料法律相談室

長谷川正浩顧問弁護士による、無料法律相談を毎月第二、第四木曜日の午後開催しております。本会事務総局03(3437)9275へ事前予約の上、お来し下さい。

二〇〇九年十一月一日発行
十一月号 第五五四号



発行人 深澤信善
発行所 財団法人 余日本仏教会

〒一〇五〇〇〇二

東京都港区芝公園四一七

電話 〇三(三四三七)九二七五
FAX 〇三(三四三七)三二六〇

印刷所 三州社

財団法人 余日本仏教会 団体参拝特別企画

WFB(世界仏教徒連盟)本部表敬訪問と ネパール・ルンビニー園参拝ツアー

WFB本部(タイ・バンコク)(イメージ)



ネパール・ルンビニー マヤ堂 H20.8.1撮影(イメージ)

本ツアーにご参加の方はWFB(世界仏教徒連盟)主催の歓迎晩餐会、昼食会、エメラルド寺院公式参拝に参加できます。

財団創立50周年記念事業である「第24回世界仏教徒会議日本大会」の円成を受け、タイ・バンコクのWFB本部表敬訪問と本会が関わったネパール・ルンビニー園復興事業の現地への参拝ツアーを企画いたしました。皆様におかれましては、この機会にお釈迦様のご生誕の地と、敬虔な仏教国へのご旅行を是非ご検討ください。
(財)余日本仏教会

旅行期間：

2010年2月5日(金)～2月11日(木)

ご旅行代金：(成田発着) **275,000円**
(お二人様一室) (関空発着) **283,000円**

※空港税及び現地空港税は上記代金に含まれております。
※燃油サーチャージを含みます。
※ネパール入国の為のビザ代が別途必要となります。(ビザ代3,000円+手数料代行)
※下記内容をお申し込みの場合、別途費用となります。
・1名1室利用追加料金：20,000円
・ビジネスクラス利用追加料金：成田発着270,000円、関空発着270,000円
※海外旅行傷害保険は含みません。
全員の方のご加入をお薦めいたします。詳しくは説明会でご案内させていただきます。

- 参加資格：余日本仏教会加盟団体関係者
- 最少催行人員：成田、関空合計で20名様
- 募集人員：30名様
※詳細はお問い合わせ下さい。

- 添乗員：全行程添乗員が同行いたします
- 食事：朝5回、昼5回、夕6回(機内食は含みません)
- 利用予定航空会社：タイ国際航空(TG)
- 利用予定ホテル(予定)：
バンコク/インペリアルクイーンズパークホテル
カトマンズ/ホテルアンナプルナ
バイラワ/ニルバナ

申込締切日：2010年12月22日(火)

〈企画〉

旅行企画・実施
お問合せ・お申込み



日程表

日次	発着地/滞在地名	時間	交通機関	スケジュール	食事
1	成田発着	11:00	TG641	成田より空路バンコクへ	昼: 機内食 夕: タビ
	バンコク空着	15:30	TG623	関空より空路バンコクへ	
	バンコク空着	11:45 15:55	専用車	バンコク空港で合流後、ホテルへ WFB主催歓迎晩餐会 【バンコク：インペリアルクイーンズパークホテル泊】	
2	バンコク発	朝	専用車	空港へ	朝: 機内食 夕: タビ
	カトマンズ	午前 午後	TG319 専用車	カトマンズへ(所要3時間30分) 到着後、カトマンズ市内観光 ◎目玉寺院、◎王宮前広場、◎本願寺別院など 【カトマンズ：ホテルアンナプルナ泊】	
3	カトマンズ発	午前	BHA851	ルンビニー園参拝	朝: 機内食 夕: タビ
	バイラワ	午前	専用車	国内線でバイラワへ 到着後、ルンビニー園へ向かいます ルンビニー園「マヤ堂」参拝 ホテルへ 【バイラワ：ニルバナ泊】	
4	バイラワ発	午前	BHA852	空路、カトマンズへ	朝: 機内食 夕: タビ
5	カトマンズ発	午後	TG320	出発まで自由行動	朝: 機内食 夕: タビ
	バンコク	夜	専用車	バンコクへ ホテルへ 【バンコク：インペリアルクイーンズパークホテル泊】	
6	バンコク	午前		WFB本部を表敬訪問	朝: 機内食 夕: 機内食
	バンコク	午後	TG640	WFB主催昼食会	
	バンコク発	22:10 22:40	TG622	エメラルド寺院公式参拝 成田へ 関空へ 【機内泊】	
7	成田発着	6:20 6:10		成田空港前 入国審査終了後解散 関空空港前 入国審査終了後解散	

発着日時及び利用交通機関は変更になることがあります。◎→入場 TG→タイ国際航空、BHA→ブダペスト
食事：朝…朝食、昼…昼食、夕…夕食、機…機内食、×…付いておりません。
発着時間の目安…早朝04:00-06:00、朝06:00-08:00、午前08:00-12:00、午後12:00-16:00、夕刻16:00-18:00、夜18:00-23:00、深夜23:00-04:00

knc! 近畿日本ツーリスト株式会社 東京団体旅行支店
(観光庁長官登録旅行業第20号) (社)日本旅行業協会正会員
〒101-8641 東京都千代田区神田松永町19-2 東京近鉄ビル5F
営業時間：月～金曜日(祝日を除く)9:15～18:00
TEL 03-3255-7952 FAX 03-3255-7956
総合旅行業務取扱管理者 石本広之・二日市健司